

あり組での生活も最後の1か月となりました。この1年の間に、寝返り、ハイハイ、一人歩きなど、たくさんの成長が見られました。食事の場面では、手掴みやスプーンを使って意欲的に食べたり、指差して「おかわり」を伝えてくれたり、外遊びの準備では帽子や靴を自分で取りに行こうとする姿も見られるようになりました。また、高月齢の子どもが低月齢の子どもに帽子を被せてあげたり、友だちとおそろいのミニカーを持ってニッコリしたり、友だちへの意識の芽生えも見られます。遊びの中で玩具の取り合いになることもありますが、一人ひとりが好きな遊びや友だちとの関わりを楽しめるように、あたたかい雰囲気大切に一緒に関わったり、見守ったりしていきたいと思っています。

入園当初は泣いたり緊張したりしていた子どもたちも、今では安心して気持ちや要求を身振りで伝え、素敵な笑顔を見せています。暖かい春へと近づく3月、日々の健やかな成長と一緒に喜びながら過ごし、ひよこ組への進級を嬉しい気持ちで迎えたいと思います。一年間、ありがとうございました。



Aちゃんが一生懸命ズボンを履こうとする姿を隣で見ていたBくん。保育者が、Aちゃんに「すごい！履けたね！」と声をかけるとBくんも笑顔でパチパチ手を叩いていました。褒め上手なBくんと、満面の笑みを浮かべるAちゃんの姿にほっこりしました。

ひよこ組での生活も残り1か月となりました。

4月は不安そうにしていた子どもたちも身の回りのことを自分でしようとし、友だちとの関わりも増えて一緒に遊ぶ姿が多く見られるようになり、身体だけでなく心の成長も多く見る事ができました。

先月はローラーを使って制作をしました。2~3人ずつ大きな模造紙に「コロコロ」と言いながら絵の具が広がっていく様子を楽しみました。それを使って壁面に大きなおひなさまができると「ピンクした」「ぼく、これ！」と喜んでいました。今月はデカルコマニー（合わせ絵）という絵の具遊びで、ちょうちょや菜の花を制作して、保育室の壁面にたくさんの春を子どもたちと一緒に表現したいと思っています。

また、りす組のトイレやランチルームを見たり、保育室で好きな遊びを楽しんだりして、少しずつ来月からの新しい環境に親しみ、嬉しい気持ちで進級を迎えたいと思います。

これからも、神さまの恵みと見守りの中で、子どもたちがのびのびと成長していくことができますようにお祈りしています。

一年間、保護者の方とともに子どもたちの成長を見守り、喜び合うことができましたことを心より感謝いたします。



泣きながら登園したAくんに「Aくんおはよう。大丈夫？」と笑顔であいさつをしたBちゃん。すると、近くにいたCくんがおもちゃ箱からAくんの好きなミニカーを取ってきて「どうぞ」と渡してあげていました。友だちを思う、優しい気持ちがいっぱいで心が温かくなりました。

りす組での生活も残すところあと1か月となりました。入園・進級当初と比べると、着替えを一人でできるようになったり、朝の準備を自分でしようしたりと、意欲的な姿に大きな成長を感じます。少しずつ生活面が自立してきたことを認めながら、甘えたい気持ちも受け止め、大切に関わっていききたいと思っています。また、保育者の見守りの中、友だちとのやりとりを楽しむ姿も多く見られるようになりました。

ままごとコーナーでごっこ遊びをしたり、砂場で砂山を作って遊んだり、椅子取りゲームやかくれんぼなど簡単なルールのある遊びも楽しんでいます。3月も引き続き、子どもたちと一緒に様々な集団ゲームを楽しんだり、期待を持って進級を迎えられるように、うさぎ組保育室で遊ぶ機会を持ったり、りす組での残りの時間も大切に過ごしたいと思っています。また、少しずつ近づく春の自然を感じながら、うさぎ組での生活も嬉しい気持ちで迎えたいと思っています。

一年間、ありがとうございました。



雪がよく降ったこの2月。外遊び中に雪が降ると、「雪だー！！」と言って園庭中を走ったり、手や上着に乗った雪を「雪だよ！見て見て！」と友だちに見せたりと嬉しそうにしていました。地面に落ちた雪を拾おうとして、「あれ？なくなっちゃった。」と不思議そうに指先を見ている姿がかわいらしかったです。